

「消防学校ニュース」

平成 28 年 11 月 15 日発行

<http://www.pref.shizuoka.jp/bousai/kakushitsu/shobogakko.html>

◆初任科第 86 期・第 1 回野外訓練 “浜石岳強歩”

11 月 3 日（木）に初任科第 86 期の第 1 回野外訓練を実施しました。初任科学生にとって、入校から約 1 月経過した時期の“浜石岳強歩（標高 707m）”は非常に重要な訓練になっています。それまでの訓練総括を行うとともに、部隊活動に必要な団結力を養うものだからです。

出発式、準備体操の後、午前 8 時過ぎに副校長、教官と学生 36 名が消防学校を出発。消防ホースなどの装備品を入れた重さ約 20 kg のリュックを背負って、約 26km の山中強歩訓練に挑み、予定より 20 分早い、午後 4 時 40 分に元気に帰ってきました。

浜石岳山頂を目指す学生



◆上級幹部科・第 15 期 --- 組織管理能力を習得 ---

11 月 7 日（月）からの 3 日間で、消防職員上級幹部科第 15 期を実施しました。入校者 12 人は署長等の管理監督者で、消防司令以上の階級にあります。

上級幹部科の目標は、①管理監督者としての知識教養を高めること、②社会情勢を的確に把握し、大局的見地に立った組織の管理能力を備えることです。

教科目は、管理職の役割、危機管理、業務管理、報道対応、人事管理、消防活動に関する訴訟問題と対応、事例研究など、多岐にわたりますが、短期間で集中的に学んでももらいました。共通の

課題や悩みを抱える者同士が昼夜にわたり、情報や意見を交換し、ネットワークづくりにも役立ったと思います。写真は、講義“人事管理（女性職員の活躍推進）”の様子です。



◆中級幹部科・第 30 期 --- 災害等に的確な指揮 ---

11 月 9 日（水）、消防職員中級幹部科第 30 期の 18 人が入校してきました。入校生は、消防司令補以上の階級で、管理を職務とする組織の要の方々です。中級幹部科の目標は、中級幹部としての責任、立場の理解、組織管理及び社会動向等を理解し、災害等に的確な指揮及び対応ができることです。教科目は、消防財政、消防活動をめぐる法的諸問題、人事業務管理（指導技法、健康管理など）、現場指揮（大隊長指揮訓練、広域災害対応など）、安全管理、事例研究など、多岐にわたります。近い将来重要ポストを担えるよう、医師、弁護士、消防の専門家をはじめとする多彩な講師から、知識や技術の習得に励んでいます。

大隊長指揮訓練の様子

